



木場小だより



令和8年3月17日

発行

校長 吉田 亜紀

教育目標：自ら学び、心豊かでたくましく 未来の創り手となる児童の育成

木場小キャラクターキバシカ

みんなで遊ぼう運動(3/6)

今年度最後の「みんなで遊ぼう運動」が行われました。運営委員会が企画し運営をしてくださいました。赤団と白団に分かれて、ドッジボールをしました。6年生のすどいボールを上手にキャッチする人、1年生にボールを譲ってあげる人、味方に当たったボールをキャッチし、セーフにしてくれる人、なかには兄弟対決もありました。その後、体育館に隠されているカードを探す「宝さがし」もありました。8枚のカードはあっという間にみつき、そこに書かれている文字を合わせるとすてきな言葉になりました。



今年度、最後の読み聞かせ(3/12)

今日は今年度最後の読み聞かせでした。今年も本当にたくさんのお話に出会わせていただきました。笑ったり、少し悲しい気持ちになったり、考えさせられたりと心が豊かになりました。子どもたちのために、暑い日も雨の日も雪の日も来ていただきました。子ども達のかげがえのない時間になっています。本当にありがとうございました。



6年生 自分で選んだ一文字(書写)

6年生は今年最後の書写の時間に、自分が選んだ一文字を書きました。一人ひとり、込めた思いが色紙の裏に書かれています。思いのこもった素晴らしい字が並んでいます。



同窓会に入会しました(3/10)

同窓会長北浩也さんに来ていただき、同窓会の意義や活動についてお話をしていただきました。北さんが小学生だったころの木場小学校のこと、北さんのお仕事のことをお聞きしました。将来の夢を叶えるために、夢に関係することだけでなく、様々な経験をすることが豊かさにつながることを教えていただきました。

6年生が学び舎から、明日巣立ちます。木場小学校全員で、心をこめて送りたいと思います。



